

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・ 事業所 の特徴	横浜に住まう人々の生活障害の軽減を支援させて頂きたいという願いを持って事業活動を進めている。それを実現していく仕組みとして「Human Care Network」を築いていく。多種の専門職が有機的に連携して、必要なケアを必要な時に必要なだけ提供していく。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 ひめゆり	管理者	木村 夏規		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			特になし。	利用開始前に利用目的を発信し、アセスメントシート、ケアプランだけでなく、週の勤務日数が少ない職員でも把握しやすい帳票を作成共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境			隣がパン屋ということもあり、地域の方も入りやすい環境になっている。	地域の方が関わりやすくなるように、見学、説明会を実施する。外の看板をリニューアルし地域にとって興味のある情報を提供する。
C. 事業所と地域のかかわり			地域との関わりが少ないため、地域行事に積極的に関わってください。	地域行事を把握し、参加できるよう勤務表作成から見直しを行う。また、地域担当職員を決め、積極的に関わって行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			努力が必要だと思います。進んで地域活動に参加してください。医療との連携は良好なので、進めてください。	小規模多機能計画書の内容を見直し、計画作成者だけではなく、全職員で共有し作成する。
E. 運営推進会議を活かした取組み			努力が必要と思います。地域ケア会議に参加してもらっているので、そこで事例検討もしている。	固定の職員ではなく、全職員が参加できるようにし、吸い上げた意見を日々のケアに反映していく。
F. 事業所の防災・災害対策			地域の防災に参加して連携を大切に進めてください。	2、3階の第二ナザレホームを連携して防災対策を行う。地域の防災行事にも参加する。